

28年度補正



株式会社アルナ

レーザー加工技術の応用による 付加価値を高めた製品開発と新市場開拓

最新のレーザー加工機の技術で、額縁部品に加工を施した斬新的な製品を開発する。従来の額縁製造工程に比べ、生産性とデザイン性を飛躍的に向上させ、需要が高まるギフト市場の開拓を目指す。



事業の背景と目的

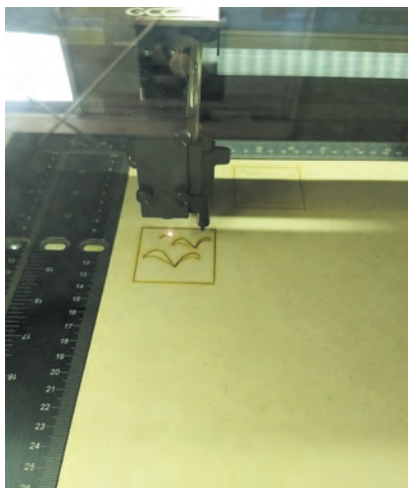
額縁市場は安価な標準製品と顧客ニーズに細かく対応するニッチマーケットに分かれているが、製造業界は売上が減少傾向にある。市場の縮小が進む中、額装内容に合致したデザインを施す新技術で市場を開拓して、新たな顧客を獲得するとともに、既存市場のシェアアップが不可欠となっている。このことから、既存の額縁にはない目新しさや額装デザイン性の向上、曲線や彫刻などの高度な加工の確立による付加価値向上と市場開拓を目指した。

事業内容と成果

額縁部品に加工を施した斬新的な製品を開発するため、最新のレーザー加工技術を備えたレーザー加工機を導入した。従来の額縁製造に比べて生産性と額縁の枠、額装などのデザイン性および精度を向上させた額縁の製造が可能となり、需要が高まるギフト市場の開拓に向けた製造体制が整った。



レーザー加工機



レーザー加工で制作



取材風景（佐々木工場長）

事業取り組み後の成果

①これまで外注していたものが内製化できたことで、製造コスト、納期の大幅削減につながった ②手作業に比べ、精度向上が図られ、仕損じが減少した ③地域における異業種交流の場で、レーザー加工機導入のPRを行うことで、額縁以外の製品（例えば表札、インテリア用品、グッズなど）の可能性が広がったことが挙げられる。

達成要因

①社長の経営方針で、従業員の多能工化の推進により全社的な連携が図られた ②数年前からトヨタカイゼン方式による現場改善活動に着手、隔月で4チーム編制により実施してきたことで改善活動の土壌があった ③この活動の中からレーザー加工機導入についての改善提案につながったことが挙げられる。

今後の取り組み

①LED照明を搭載した高付加価値な額縁や埼玉大学その他異業種の企業との事業連携などによるレーザー加工機を活用した新商品開発の取組み ②試作開発した製品の地域企業の展示コーナーへの展示、ギフト向けなどその他の商談会への参加によるPR活動 ③受注増に対応する生産体制強化のためのオペレーターの増員を図っていく。

まごころ
「飾る喜び」を楽しんでもらえるように、「誠心製品」を作り続けます



レーザー加工機を使った試作開発と新市場開拓が事業テーマだが、本格的な新市場の開拓はこれからである。商品特性から受注単位は1個から100個単位となるようなので、工員一人が数工程をこなすセル生産方式になると思われる。今後、生産体制を強化するためには、オペレーターの増員がカギを握る。また、設備導入後可能となった内製加工自体が足かせとなり、受注制限がかからないように、製造人員体制の構築と工程管理が重要となる。

企業PR

1967年埼玉県で創業した額縁専門メーカーです。1989年に現会長の出身地である鹿児島県に鹿児島工場を設置しました。現在、一般的な額縁の他、野球等のフラッグ・ボール・ユニフォーム等を収納できる立体的な額装も製造しています。今後も最新設備による精確な工程と人手による細かい作業で、誠心込めた製品づくりを心掛けていきます。



事業者 株式会社アルナ
代表者 代表取締役社長 雪山 大
設立年月日 昭和48年3月15日
所在地等
[本社] 〒336-0974
埼玉県さいたま市緑区大崎2562-26
[工場] 〒895-0053
鹿児島県薩摩川内市冷水町551-7
TEL 0996 (27) 0881 / FAX 0996 (27) 0882
〈URL〉 <http://aluna.co.jp/>
資本金額 4,000万円
従業員数 29名
業 種 家具・装備品製造業